

第 39 回日本土壌動物学会大会プログラム

大会委員長 大高 明史

大会事務局長 池田 紘士

会 期 : 2016 年 6 月 4 日 (土) ~5 日 (日)

会 場 : 弘前大学農学生命科学部

〒036-8561 青森県弘前市文京町 3

大会日程 :

6 月 4 日 (土)

- 9 : 00 ~ 10 : 00 編集委員会 (330 教室)
- 10 : 00 ~ 15 : 00 大会受付 (302 教室前)
- 10 : 30 ~ 11 : 30 評議委員会 (330 教室)
- 11 : 30 ~ 13 : 00 昼休み
- 13 : 00 ~ 15 : 00 日本土壌動物学会公開シンポジウム (402 教室)
「木村リンゴ園の土壌を考える」
- 15 : 10 ~ 17 : 20 口頭発表 (402 教室) , **O1~O8**
- 17 : 30 ~ 18 : 15 総会
- 18 : 20 懇親会会場へ移動
- 18 : 30 ~ 20 : 30 懇親会 (弘前大学大学会館 2 階 Scorum)

6 月 5 日 (日)

- 8 : 00 ~ 9 : 00 ICSZ/ICA運営委員会 (330 教室)
- 9 : 00 ~ 9 : 20 ポスター講演 (フラッシュトーク) (402 教室)
- 9 : 30 ~ 10 : 30 ポスター発表 (302 教室) , **P1~P19**
(9 : 30 ~ 10 : 00 奇数番号コアタイム)
(10 : 00 ~ 10 : 30 偶数番号コアタイム)
- 10 : 40 ~ 11 : 40 口頭発表 (402 教室) , **O9~O12**
- 11 : 50 ~ 12 : 00 参加者写真撮影 (農学生命科学部棟正面玄関前) , 閉会挨拶
- 12 : 00 ~ 12 : 15 昼食予約者へのお弁当の引渡し (正面玄関前)
- 13 : 00 ~ 17 : 00 トビムシ研究会 (新) 設立総会 (330 教室)
- 13 : 30 ~ 15 : 00 ミミズ研究談話会総会 (402 教室)
- 13 : 30 ~ 16 : 30 エクスカーション (農学生命科学部棟正面玄関前に 13:30 集合)

発表要領：

① 口頭発表

講演時間は質疑応答、交代時間を含めて **1題あたり15分**です（一鈴10分、二鈴12分（発表終了）、三鈴：14分30秒（討論終了））。発表時間は厳守でお願い致します。事務局では Windows 7 の PC を用意いたします。PowerPoint のバージョンは 2010 です。ファイルはあらかじめ USB メモリーもしくは CD に記録し、発表前に必ず事務局で用意した PC にて動作確認をお願いいたします。事前にメールでファイル送信をご希望の方は、6月2日までに大会事務局（hiked@hirosaki-u.ac.jp）まで発表の PowerPoint ファイルをお送り下さい。

② ポスター発表

今大会では、**ポスター発表の方にも自由参加で1分間のフラッシュトークをお願い致します**。特に大学及び研究機関に所属されている方は積極的にご参加ください。5日9:00から、1、2枚に要点をまとめた Power Point ファイルで、ポスターの見どころを1分間でご説明いただきます。時間の都合上、発表は厳密に1分で打ち切らせていただきます。事務局では Windows 7 の PC を用意いたします。PowerPoint のバージョンは 2010 です。Power Point ファイルは、口頭発表と同様に、4日の会議終了までに事務局で用意した会場の PC にて動作確認をお願いいたします。4日終了の時点を締切といたしますので、それまでに入力いただいた方にフラッシュトークをお願いいたします。事前にメールでファイル送信をご希望の方は、6月2日までに大会事務局（hiked@hirosaki-u.ac.jp）まで発表の PowerPoint ファイルをお送り下さい。

また、**ポスターの発表時間は5日（日）の9:30～10:30**です。コアタイムを設定いたしますので、コアタイムの時間には、ご自身のポスターの前で説明をお願いいたします。コアタイムは、**講演番号が奇数の方は9:30～10:00、講演番号が偶数の方は10:00～10:30**です。ポスターは横90cm×縦120cm以内で作成ください。4日（土）の9:00から掲示可能です。5日（日）9:30までに掲示し、13:00までに忘れずにご回収ください。画鋏の使用できないボードを使用いたしますので、こちらで準備したテープでボードに貼り付けていただきます。

懇親会：

場所：弘前大学の大会会館2階のレストラン（Scorum）

時間：6月4日（土） 18:30～20:30

昼食：

昼食は各自でおとりください。弘前大学生協の食堂(Horest)は、4日（土）は11:00～14:30と17:00～19:30の時間に営業しております。大学構内のキャンパスコンビニ(Cerisier)は、4日（土）は8:00～20:00、5日（日）は10:30～14:30の時間で営業しております。また、大学より徒歩5分程度の範囲にコンビニが2件ございます。5日（日）の昼食につきましては、参加申込書にて事前に御予約いただいた方に限り、弁当を準備いたします。

休憩室：

330 教室を休憩室として開放いたします。お茶など用意しておりますのでご利用ください。

企画案内：

1. トビムシ研究会（新）設立総会

日時：6月5日（日）13:00～17:00

場所：弘前大学農学生命科学部 330

内容：

トビムシ研究会設立趣旨説明

（長谷川元洋）

講演1「形態と分子データを用いたトビムシ研究の展望」

（中森泰三）

講演2「trait-data を用いた群集生態学の展開」

（菱拓雄）

講演3「青森県陸奥湾沿岸のホソイソヒメトビムシ *Halofriesea* の研究」

（須摩靖彦、山内智）

2. 第17回ミミズ研究談話会総会

土壌動物学会に合わせて、今年もミミズ研究談話会の総会を開催致します。総会に合わせて、2題（各30分）の講演を予定しております。申し込みは不要です。会員でない方も、ご興味がある方はぜひお誘い合わせの上ご参加下さい。

日時：6月5日（日）13:30～15:00

場所：弘前大学農学生命科学部 402 教室

内容：ミミズ研究談話会の総会を開催するとともに、以下の講演2題を予定しております。

講演1「ミミズ由来微生物の農業利用への試み」

（鷲尾尚輝・阿野貴司 近畿大学大学院生物理工学研究科）

講演2「淡水産ミミズ類の多様性」

（大高明史 弘前大学教授）

3. エクスカーション

日時：6月5日（日）13:30～16:30

場所：木村秋則さんの無農薬リンゴ園

内容：5日（日）の13:30に農学生命科学部棟正面玄関前に集合していただき、木村秋則さんの無農薬リンゴ園を見学します。当日自家用車でお越しの方で、エクスカーションにご参加予定の方に、車の分乗に御協力をお願いする場合がございます。ご協力が可能な方がいらっしゃいましたら、事務局の池田（E-mail: hikeda@hirosaki-u.ac.jp）まで参加申込の際にご連絡ください。当日は弘前大学で16:30頃の解散を予定しております。

交通：

【青森空港から】

バス（約 50 分）：弘前市内（弘前バスターミナル）行きのバスにご乗車いただき、JR 弘前駅前下車ください。

【JR 弘前駅から】

徒歩（約 20 分）

タクシー（約 5 分）

バス（約 15 分）：JR 弘前駅前（中央口）バスターミナルの 3 番乗り場より「小栗山・狼森線」または「学園町線」に乗車いただき、「弘大農学生命科学部前」で下車ください。

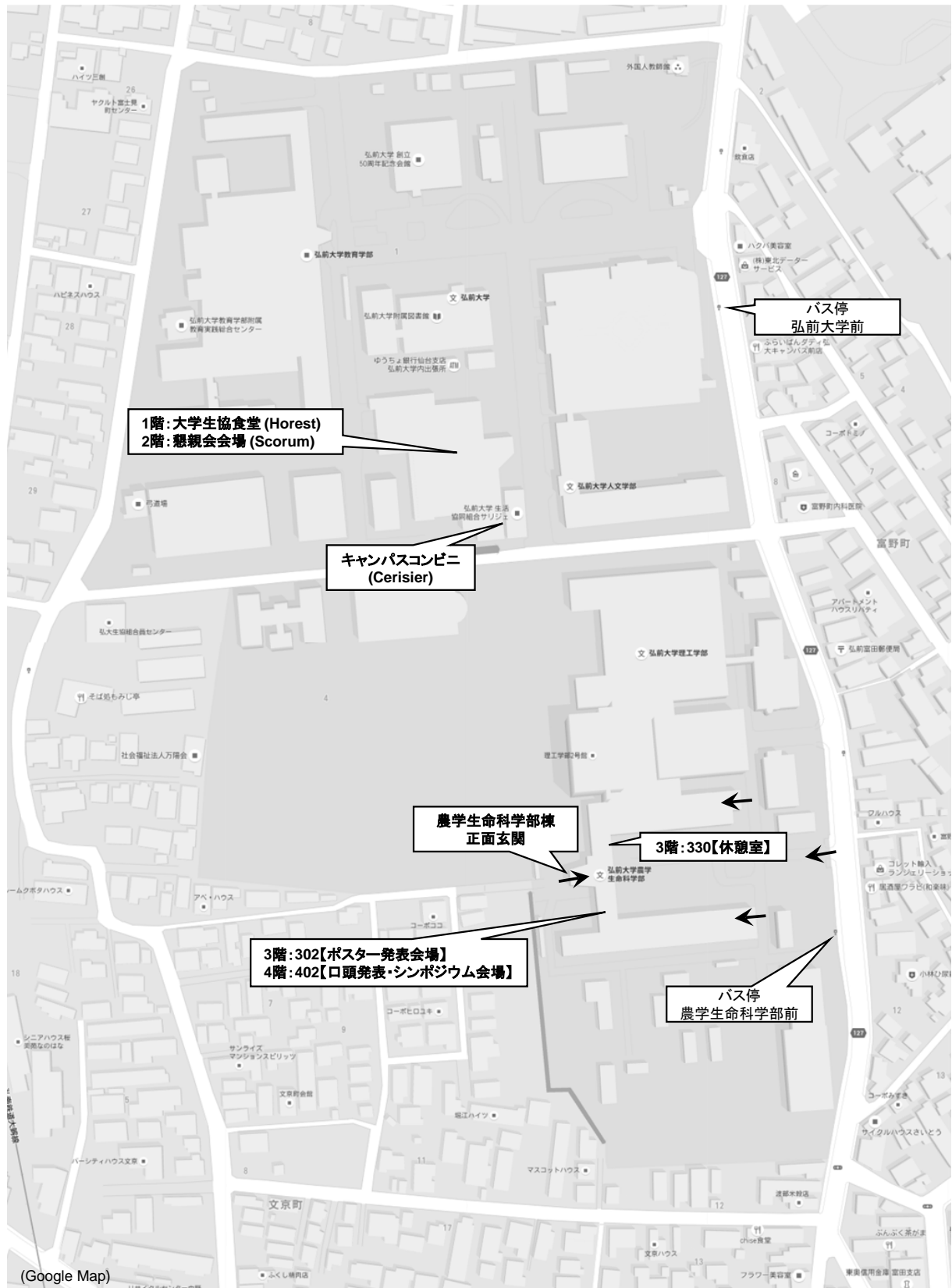
【自家用車】

大学内には来賓の方用の駐車スペースがございますが、駐車できる台数に限りがあります。そのため、お車でお越しの方は事前に事務局の池田（E-mail: hikeda@hirosaki-u.ac.jp）までご相談ください。

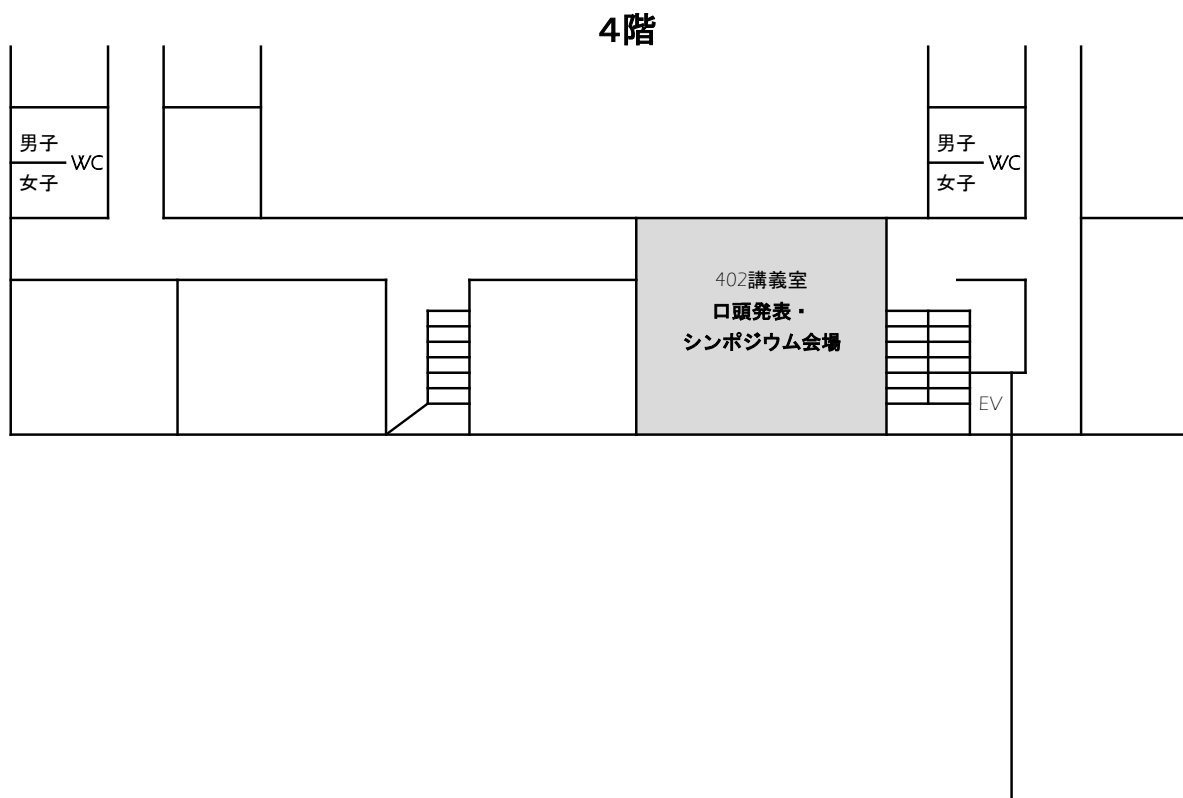
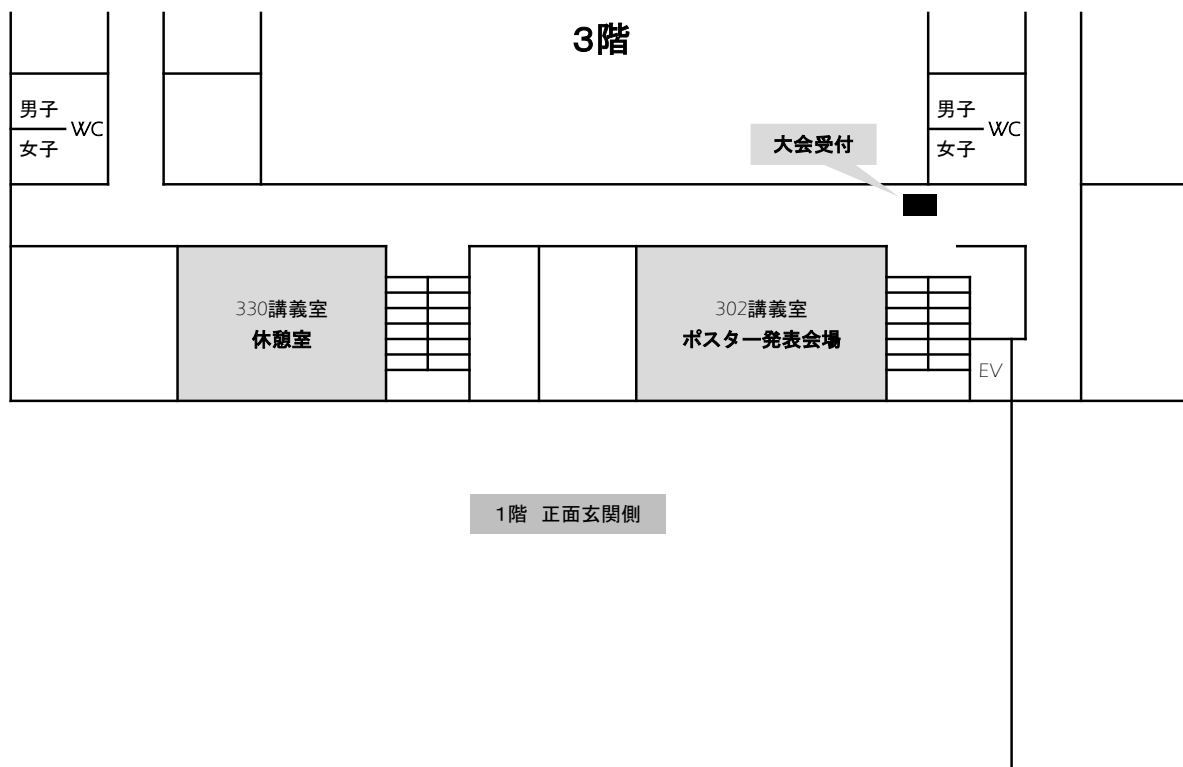
JR 弘前駅から弘前大学までのアクセス



弘前大学敷地拡大図



農学生命科学部棟内の会場詳細案内図



公開シンポジウム（参加無料、申込不要）

6月4日（土） 13:00 ～ 15:00 402 教室

「木村リンゴ園の土壌を考える」

司会 金子信博

時間	番号	発表者	演題
13:00-13:05		金子信博	趣旨説明
13:05-13:25	S1	杉山修一	「奇跡のリンゴ」誕生の科学的背景
13:25-13:45	S2	岡田浩明	有機・自然栽培農家のリンゴ園では土壌動物が豊富である
13:45-14:05	S3	藤田正雄	減農薬リンゴの栽培可能性
14:05-14:25	S4	金子信博	生態系システムアプローチ「生きている土」の科学的表現
14:25-15:00		総合討論 コメンテーター	木村秋則

口頭発表

6月4日(土) 15:10 ~ 17:20 402 教室

時間	番号	発表者	演題	座長
15:10-15:25	O1	菱拓雄・兵藤不二夫	北海道東部の冷温帯落葉樹林、カラマツ人工林においてミヤコザサ除去が土壌動物群集に与える影響	
15:25-15:40	O2	岸本太郎・鳥居春己	奈良春日山原始林における大型土壌動物群集の衰退	中森泰三
15:40-15:55	O3	澤島拓夫・細川数之	カエントケおよびそのマイコトキシに対する菌食性トビムシの反応	
15:55-16:10	O4	近藤正樹	白神山地安門沢ブナ林のアリ群集	
総合討論				
16:20-16:35	O5	橋本みのり	八ヶ岳山麓のキシヤヤスデ個体群の現状とその生息環境	
16:35-16:50	O6	渡辺弘之	タイ・ラオス国境メコン河のメコンオオミミズ	
16:50-17:05	O7	唐沢重考	熱帯性ワラジムシ類 <i>Burmoniscus</i> における生息環境と遺伝的分化の関係	丹羽慈
17:05-17:20	O8	吉野広軌・久保田耕平	関東地方を中心としたニホンヒメフナムシ種群の系統地理	
総合討論				

6月5日(日) 10:40 ~ 11:40 402 教室

時間	番号	発表者	演題	座長
10:40-10:55	O9	柴田康平	ホタルミミズの生殖方法の確認	
10:55-11:10	O10	前野美沙・安川洋生	病原性アメーバ <i>N. fowleri</i> の青色光受容ドメインに保存された芳香族アミノ酸の解析	
11:10-11:25	O11	島野智之	ダニ類の高次分類について～土壌動物は節足動物の進化の宝箱になるか～	唐沢重考
11:25-11:40	O12	武田博清	日本の土壌動物研究は何をしてきたのか	
総合討論				

ポスター発表

6月5日(日) 9:00 ~ 9:20 フラッシュトーク 402 教室, 9:30 ~ 10:30 302 教室

番号	発表者	演題
P1	松本直幸・須摩靖彦・小池孝良	冬期にハナゴケで増殖するベソッカキトビムシとホソゲツチトビムシの夏期の動態
P2	一澤圭	鳥取県矢筈ヶ山から得られたウロコトビムシ類 <i>Willowsiinae</i> sp.について
P3	中森泰三	食虫菌オオキツネタケの子実体に対するトビムシの選好性
P4	山内智	青森県沿岸の海浜性トビムシの研究
P5	斎藤星耕・青山洋昭・藤井佐織・ 朴相和・山田明德・新里尚也・金子信博	遺伝子配列によるトビムシ群集調査法の課題：偽遺伝子由来配列の出現とその対策
P6	長谷川元洋・原口岳・滝久智・北岡哲・松浦俊也・五十嵐哲也・佐藤保・岡部貴美子	土地利用の前歴の異なる広葉樹二次林におけるトビムシ群集の比較
P7	吉田智弘・時野谷彩香・深野祐也	針葉樹林と広葉樹林の境界が土壤動物群集に及ぼす影響
P8	大西純	超塩基性岩地帯(アポイ岳)のササラダニ類について(予報)
P9	荒城雅昭	環境指標としての土壤線虫一適用例とその限界一
P10	丹羽慈	気温変動に対する地表徘徊性甲虫類の活動性の応答
P11	原直譽	淡路島においてイソミミズはどのように分布しているのか
P12	上平幸好	九州本島における陸生貧毛類の地理的分布
P13	大久保慎二	有機栽培圃場における小型耕耘機による軽度の耕耘が大型土壤動物に与える影響
P14	清水伸泰	八重山諸島に生息する日本最大級のヤスデ <i>Spirobolus</i> sp. の防御物質
P15	加藤朱莉・陰山大輔	オカダンゴムシ由来のイリドウイルスはコシビロダンゴムシに感染するか?
P16	北川加菜・那須貴大・栗崎行信・唐沢重考	GIS と GLM を用いたオカダンゴムシの分布解析の検討
P17	豊田鮎・石崎成美	フトミミズ科ミミズ幼体とオカダンゴムシ成体による土壤炭素貯留機能
P18	金田哲・米村正一郎・櫻井玄	地域個体群がミミズ団粒形成速度に及ぼす影響
P19	井上浩輔・丹羽慈・池田紘士・南谷幸雄・三浦季子・角田智詞・金子信博	土壤動物群集と窒素無機化速度の関係～福島、弘前の有機栽培圃場と有機果樹園を例に～